

※このシートをそのままPDF化しますので、表のサイズ、フォントを変更しないでください。

技術情報PDFシート

技術情報欄 (Outline of Technology/Service)

技術/サービス名称 Name of Technology/Service	未利用エネルギー「下水熱」の活用技術	情報入力欄 Information Entry field	下のスペースに技術/サービスの説明、画像等を入れる。 Enter the information and images of this technology/service in the box below.
対象分類 Objects	D_水処理		
対象小分類 Objects (Sub-categories)	2_生活排水		
活動分類 Activities	03_建設 (改築更新)		
技術特性・効果 Priorities	04_エネルギー回収	構成例(空調利用の場合)	
技術特性・効果 Priorities	03_省エネ	STEP1 管路更生と下水熱回収 下水道の熱エネルギーを回収します。更生管内部に熱回収管が組み込まれています。熱回収管内に満たされた循環水が下水温度により温められることで熱エネルギーを回収していく仕組みです。	
技術特性・効果 Priorities	05_地球温暖化防止	STEP2 ヒートポンプへ送水 熱エネルギーをヒートポンプまで送ります。 下水により温められた熱回収管内の循環水(熱エネルギー)を熱エネルギー利用を行う建物敷地内に設置したヒートポンプまで送水します。	
技術概要 Outline	下水温度は大気と比べ、年間を通して安定しており、冬は暖かく、夏は冷たい特徴があります。この下水温度と大気温との差(熱エネルギー)を冷暖房や給湯等に利用することにより節電効果(CO ₂ 削減効果)が発揮されます。エスロヒート下水熱らせん型は下水道管の更生用部材内部に熱回収管を嵌め込むことにより、下水と直接、熱回収管が触れ、効率的に熱エネルギーを回収します。回収した熱はヒートポンプにより給湯や空調として有効利用します。老朽管の更生や耐震化と熱エネルギー回収を同時に行える技術です。 導入効果として、省エネルギーや地球温暖化防止への貢献に加え、自治体にとっては低炭素型まちづくりのサポート、利用者にとっては企業・施設価値の向上を実現します。	STEP3 ヒートポンプユニット ヒートポンプで熱エネルギーを実際に有効活用。 暖房として利用する場合、ヒートポンプで空調配管内の冷温水を50℃まで温め、暖房や給湯に活用します。空調で放熱された冷温水は45℃となってヒートポンプに戻り、再び温められます。	
対応地域 Service Area	<input checked="" type="radio"/> 国内のみ (Only in) <input type="radio"/> 海外対応可 (Overseas)		
情報更新年月日 (西暦) Date of Updating	2017/3/10		
連絡担当者 Person in charge of this information	鳴坂洋二		
電話/e-mail Phone/e-mail	06-6365-4065 narusaka001@sekisui.com		
関連情報サイト Related Information Site	http://www.eslontimes.com/system/exercises/gesuinetsu.html		
事業者情報欄 (Profile of Provider)			
事業者 Provider	積水化学工業株式会社		
ふりがな (全角ひらがな)	せきすいかがかくこうぎょうかぶしきがいしゃ		
郵便番号 (XXX-XXXX) Zip Code	530-8565		
所在地 Address	大阪市北区西天満2-4-4		
電話 Telephone	06-6365-4065		
FAX (Facsimile)	06-6365-4388		
URL	http://www.sekisui.co.jp/		

